

## 書類の作成にあたって

書類の作成にあたっては、紙媒体の用紙に黒の万年筆またはボールペンを用いて手書きで作成、または、ホームページからダウンロードした指定の様式を用いて文章作成ソフト(word)で作成したものを印刷してください。

### 1. 入学志願書（様式1）

以下の点に留意して作成してください。

- ・入学試験日：希望する入学試験日を記入してください。
- ・受験会場：希望する受験会場を記入してください（受験会場は募集要項を参照）。
- ・メールアドレス：各種連絡、小論文審査に関する連絡、入試の結果の連絡に必要となりますので、必ず、記入をお願いいたします。なお、PCのメールアドレスを持っていない方は、Gmail等のフリーのアドレスを取得しておいてください。
- ・受験料の受領証：受験料の振込がわかる証書など所定の欄に貼り付けてください。
- ・学歴・職歴：高等学校卒業後からの学歴・職歴を記入してください。経歴に空白がないように在家期間等についても漏れなく記載してください。記載しきれない場合は学歴・職歴欄の最終行に「別紙に記入」と書き、別紙にその続きを記載して提出してください。なお、大学院・大学・短期大学の科目等履修生の経歴がある方は、それらの経歴の記載もお願いいたします。
- ・教員免許状・その他資格等：教員免許状のほか、教育や心理に関する資格等、本学大学院での研究、学修に関連する資格を記入してください。
- ・誓約：ワープロ等で作成した場合、印刷した後に「自署」でお願いいたします。

### 2. 志望理由書（様式2）

当大学院の志望動機、当大学院での学修を修了後、どのように活かしていきたいかを書いてください。その際、必ず、指定の様式1枚（両面可）に収めてください。

### 3. 活動実績報告書（様式3）

職務上の実績や研究業績を書いてください。その際、必ず、指定の様式1枚（両面可）に収めてください。

### 4. 研究計画書（様式4）

研究計画書は、研究テーマ、研究の背景、研究の目的、研究の対象と方法を説明する書面です。研究計画書は、以下の「<参考>研究計画書の作成について」をよく読んで作成してください。その際、必ず、指定の様式1枚（両面可）に収めてください。また、希望する研究指導教員については必ずお書きください。

#### <参考>研究計画書の作成について

研究計画書は、出願時点での問題意識や先行研究の調査等を基にした「研究構想」を文書として表現するものです。入学後の学修や研究により、研究方法や研究テーマが変更になる場合がありますが、現時点での研究構想を以下で説明する「研究計画書の基本的な構成」に当てはめながら、「研究計画書作成において心がけるべきこと」を参考に、自らの考えを整理し、先行研究の調査等を通して練り上げ、研究計画書として仕上げていくことが重要です。

まず、「研究計画書の基本的な構成」は以下の通りです。

#### ①研究テーマ

研究計画書の所定欄に研究テーマを書いてください。

#### ②研究の背景

まず、研究テーマについて、ご自身の研究の動機や問題意識も書いてください。続いて、先行研究を参考に、研究テーマに関する現状や課題を説明してください。

### ③研究の目的

研究テーマについて、研究の背景に記載したことをもとに、研究を通して「何を明らかにしたいのか」をできるだけ具体的に説明してください。併せて、なぜ、その研究を行う必要があるかがわかるように説明しているとよいです。

### ④研究の対象と方法

研究の目的を達成するために、どのような対象に対してどのような調査、実践等を行うか、研究の方法についてできるだけ具体的に説明してください。

### ⑤期待される成果

可能な限り、期待される成果を示してください。さらに、研究によって明らかにしたことが、社会にどのように役立つと考えられるか、あるいは、どのようにご自身の仕事に活かせるのかなどを述べることも大切です。

### ⑥文献

研究計画書を作成する際に、研究テーマに関わって引用・参考にした専門書や論文等を必ず記載してください。

### ⑦希望する研究指導教員

研究計画書の所定欄に、希望する研究指導教員名を必ず書いてください。

続いて、「研究計画書作成において心がけるべきこと」を以下に説明します。

#### ①先行研究（専門書、論文など）の調査を行いましょう

先行研究の調査を行うと、研究テーマに関する問題意識を深めたり、「国内外の研究動向」、「研究の方法」、「研究論文としてのまとめ方」という視点から文献等で調べることにより、研究計画をより具体化することができます。なお、論文の調査には、CiNii（サイニー）や Google scholar が便利です。まずは、研究テーマ、問題意識に関連するキーワードをいろいろと考えて入力・検索して、抽出された複数の論文を読んでみましょう。

#### ②具体性のある研究計画書を書きましよう

研究計画書は入学後の研究の基礎となるものです。具体性のある研究計画書を書くためには、次のようなことを意識しましょう。

##### ○研究内容が絞り込めていること

できれば、2年間で取り組める研究内容に絞り込むことが重要です。

##### ○研究が実施可能であると考えられること

対象や方法が適切であるか、研究に費やす時間が十分とれるか、調査等のフィールドが確保できるか、などの検討をする必要があります。

##### ○独自性があること

先行研究の調査から、研究テーマについての成果と課題を整理し、どの点に独自性を見いだしていくかを検討するとよいです。

##### ○必要性が高いこと

研究を通じて、自分を取り巻く社会における課題の解決、仕事の改善等につながるものが重要です。

##### ○研究計画書として筋道立てて説明されていること

上記の条件を考慮しつつ、研究計画書として筋道立てて、読み手が理解できるように説明されていることが大切です。できれば、提出前に、他者に読んでもらうことをお勧めします。